

特定行為研修の実際

～当院で行う共通科目と区分別科目の特徴～

洛和会音羽病院 特定看護師 田村 文

はじめに

- 洛和会音羽病院では、2015年10月から特定行為研修を開始
 - 2017年3月に修了生5人を輩出
 - 当院における特定行為研修修了者＝特定看護師
- 2017年4月からは新たな受講生を迎えての研修がスタート

研修科目

- 特定行為研修は共通科目と区分別科目に分かれている
 - 共通科目：
 - 特定行為の実践に不可欠な基礎的知識と技術を学ぶ
 - 7科目 315時間
 - 区分別科目：
 - 特定行為の実践に必要な専門的な知識と技術を学ぶ
 - 5科目 202時間
- 合計517時間（2015年度カリキュラムより）

共通科目の実際

講義・演習・実習の実際

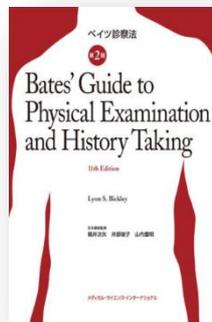
共通科目

- 共通科目(7科目):315時間
 - 臨床病態生理学 45時間
 - 疾病・臨床病態概論 60時間
 - 臨床推論 45時間
 - 医療安全学 30時間
 - フィジカルアセスメント 45時間
 - 特定行為実践 45時間
 - 臨床薬理学 45時間

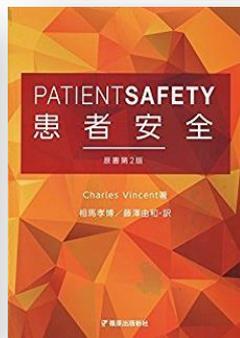
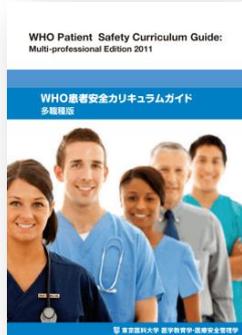
Morning Lecture



講義、演習、実習の実際①



講義、演習、実習の実際②



区分別科目の実際

講義・演習・実習の実際

はじめに

- 区分別科目(5科目):202時間
 - 呼吸管理(気道確保に係るもの)関連 22時間
 - 呼吸管理(人工呼吸療法に係るもの)関連 63時間
 - 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 36時間
 - 術後疼痛管理関連 21時間
 - 循環動態に係る薬剤投与関連 60時間

講義・演習・実習の実際



例)呼吸管理(気道確保に係るもの)関連

- アニメーション



ご清聴ありがとうございました